

京都学・歴彩館 海外若手研究員による府民向けセミナー 「海外における日本研究の新地平」(開催報告)

平成31年2月22日
京都学・歴彩館
075-723-4835

京都学・歴彩館では、世界とつながる京都学の研究・交流拠点をめざし、国内外からの幅広いアプローチにより京都文化の普遍的な価値を研究、発信するため、平成29年度から、日本研究・京都研究の優秀な海外若手研究者を京都学研究員として招聘しています。

このたび、30年度の京都学研究員による府民向けセミナーを下記のとおり開催しましたので報告します。

記

- 日 時 平成31年2月22日(金) 13:30~16:45
- 場 所 京都府立京都学・歴彩館 小ホール
- 講 師 京都学研究員 ダン・シアー(アメリカから招聘)
朴 漢珉(韓国から招聘)
サラ・バレットドシア(フランスから招聘)
ルーク・エジントン=ブラウン(イギリスから招聘)

- 参加者 94名

■ 発表内容

- 発表1 ダン・シアー
「16世紀を切り抜けた京都法華宗 -会合と礼銭-」
- 発表2 朴 漢珉(パクハンミン)
「京都から朝鮮へ、朝鮮から京都へ -明治期、海を渡って活動した人々-」
- 発表3 サラ・バレットドシア
「近世社会の中の遊女 -イメージと実像とその変化-」
- 発表4 ルーク・エジントン=ブラウン
「19世紀日本と西洋の考古学による文化交流」

■ セミナーの様子

各講師30分程度の発表のあと、積極的な質疑応答が行われ、研究者と参加者の交流を図りつつ、京都学の研究内容についての理解を深めた。

■ 参加者コメント(抜粋)

- ・「様々な分野の研究において、海外の方の視点が興味深かった。」
- ・「ユニークなテーマで大変面白かった。総じて日本をよく研究していると感じた。」
- ・「多様な日本文化を研究されていて、内容も充実している。素晴らしい。」
- ・「外国の方からの日本史研究のアプローチは、勉強になることが多いです。」
- ・「それぞれの発表を興味深く受講し、大変勉強になりました。」
- ・「日本人でもむづかしい歴史を研究しておられる外国の方にびっくりしました。」
- ・「具体例によりわかりやすかった。各先生方の資料の引用が大変面白かったです。」
- ・「海外での日本への関心が垣間見える興味深いセミナーだったと思います。」
- ・「中身も豊富で、大変有意義なセミナーだった。今後も成果を聞きたいです。」
- ・「大変よかったです。このセミナーを今後も続けていただきたい。」

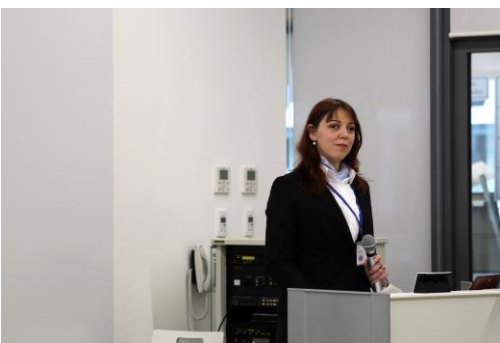
府民向けセミナーの様子



発表1 ダン・シアー 氏



発表2 朴 漢珉 氏



発表3 サラ・バレットドシア 氏



発表4 ルーク・エジントン=ブラウン 氏